

意見の概要および市の考え方(次期彦根市総合計画(素案))

全体について

意見の概要		意見数	修正の有無	市の考え方
1	ダイジェスト版の作成提示を要望する。文章ばかりでは全体像がつかみにくく、わかりづらい。構図形式で表してほしい。	1件	無	当初から概要版(ダイジェスト版)を作成する予定であり、現在作成に取り組んでおります。作成に当たっては、ご指摘も踏まえ、市民の皆様によりわかりやすく、イメージしやすいことを重視してまいりたいと考えております。
2	前彦根総合計画の反省(振り返り)から何を盛り込まれたのか?次期計画への改善点は?	1件	無	本計画の策定に先立ち、令和元年度に次期総合計画策定に係る基礎調査および市民意識調査を実施し、現計画の総括および市民ニーズを把握した上で、本計画を策定しております。 そうした結果を踏まえ、本計画の基本構想において「今後のまちづくりの視点」をまとめ、さらにそれらをもとに政策・施策をまとめてまいりました。 また、個別施策についても、現計画との違いなどを審議会において説明し、審議会委員の皆様により丁寧にご審議をいただいた上で策定しております。
3	一般市民からのアンケートによる「あるべき姿」や「課題設定」は大変良いと思うが、外部(彦根市以外の方)から、「Uターンや住んでみたい町?」を切り口に「良いところ」や「課題」を客観的に指摘してもらえると、もっと気づきがあるのではと思う。	1件	無	本市におきましては、人口減少対策として「彦根市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を定めておりますが、その策定の際には、市外からの転入者と市外への転出者を対象にアンケート調査を実施しております。 本計画の策定に当たっては、既に上述の総合戦略でアンケート調査を実施していることもあり、市外の方へのアンケートは実施していませんが、本計画の推進

				に当たっては、様々な手法を用いて、客観的な本市の姿を把握できるよう努めてまいります。
4	施策に当たって1章から4章まで多岐に渡っているが、推進体制に当たっては組織の枠にとらわれない「横串を通した戦略や仕組み作り」が必要なのではと思う。	1件	無	ご指摘のとおり、本計画の推進に当たっては庁内横断的な体制を構築していく必要があると考えており、今後、推進体制についても検討を進めてまいります。
5	各施策における4年後の目標を指標名ごとに数値化され、成果が定量化されておられことは素晴らしいことと思う。しかし、表記が基準値と目標値だけとなっていることから、継続している指標名の成果推移が見えなくなっている。 一つ前の計画時の基準値も併記していただくことを望む。	1件	無	本計画は現計画の改訂ではなく、新規計画の策定となり、全面的に内容を見直しており、政策・施策の柱建てについても変更しております。こうしたことから、現計画と本計画との施策は、1対1で対応するものではないため、現計画の指標については、本計画には記載しません。
6	各施策の指標をKPIとされるのであれば、KMIとKAIも設定されてはいかがか。KMI、KPI、KAIはセットものと考え。全庁一体となるためにも、これらの設定は大きな働きをするものと考えます。ご検討されてはいかがか。	1件	無	KMI (Key Management Indicator : 重要経営評価指標)やKAI (Key Activity Indicator : 重要活動評価指標)については、民間企業の目標管理において取り入れられており、目標を各階層において連動させていくことで、計画の実効性を高めるものと認識しております。 本計画の推進に当たっては、適切かつ効率的に進捗管理を行う必要があると考えており、ご意見はそうした検討を進める上で参考にさせていただきます。

基本構想(素案)について

意見の概要	意見数	修正の有無	市の考え方
「第2章 彦根市の今後の取組に向けて」「多様性を認め合い、だれもがいつまでも活躍できる社会の形成」			
1 人材育成は成長に不可欠の無形資産への投資という視点から「ギフテッド教育*の実施」を追記すべき。（*全般的または特定の分野で高い能力を発揮する子ども）	1件	無 (記載済み)	<p>ギフテッド教育については、文部科学省作成の新学習指導要領の教師向け参考資料においても、「特定分野に特異な才能のある児童生徒に対する指導」という項目が設けられており、その中で「学校内外において、このような児童生徒を含め、あらゆる他者を価値のある存在として尊重する環境を築くことが重要」と指摘されています。</p> <p>こうしたことを踏まえ、本市においても、対応を進めてまいりたいと考えておりますが、既に本文中に「コミュニケーション力・実践力・主体性・多様性・協働性…(中略)…力強く生きる力を育むことが求められます。」と明記しており、前述のギフテッド教育への対応についても包含されていますので、計画の修正は行いません。</p>
2 コミュニケーション力ほかの列記に、「ジュニア段階からのデジタル教育」を追記すべき。	1件	有	ご指摘を踏まえ、「…協働性やデジタル社会への適応力を重視した、…」と追記します。
3 コミュニケーション力ほかの列記に、「大学と高校の連携によるSTEAM教育」を追記すべき。	1件	無	ご指摘の点は、大学と高校との連携となり、主としてそれぞれの学校を所管している国・県等において対応が必要になることから、本計画には記載しません。
4 学校教育におけるパラダイムシフトの視点から、「学びのプラットフォーム」についての研究を明記すべき。	1件	無	ご指摘のとおり、デジタル化の進展等により、学校教育は大きな変革の時期にあると思われませんが、内容が幅広く、具体的な教育課程等の検討を含むと考えられますので、個別に検討し、必要に応じて計画すべき事項

				と考えます。したがって、本計画には記載しません。
「第2章 彦根市の今後の取組に向けて」「資源と新技術を活用した産業の新たな展開」				
5	「資源を生かし、観光振興やスポーツを通じたまちづくり」を「資源を生かし、世界文化遺産を基軸とした広域観光戦略やスポーツを通じたまちづくり」に修正すべき。	1件	無 (記載済み)	ご指摘の点は重要であると認識しておりますが、ここでは、ご指摘の点も含めて、一般的な表現として「観光振興」を用いています。 世界遺産登録については、「重要な視点について」の「○スポーツや観光で彦根の魅力・活力の向上」に記載していますので、この項目には記載しません。
6	地方創生の画一的取組と都市間競争で、都市の個性が薄れつつあるなか、彦根市が目指す都市像を確立し、市民が共有するために「都市としてのブランディング」を再定義すべき。	1件	無	「都市としてのブランディング」については、抽象度が高く、その必要性も含めて、専門的な検討が必要と考えられるため、現時点で本計画には記載しません。
「第2章 彦根市の今後の取組に向けて」「重点的な視点について」				
7	「○スマートシティの推進」の項を追加すべき。理由：今後の都市戦略において、構想が掲げる課題解決のために、新技術、データ活用、市民参画等は、スマートシティの基本コンセプトに合致することから、新たに重点的な視点において項目を追加すべき。	1件	有	本市は「彦根市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進基本方針」において「今後検討する取組例」としてスマートシティ化を挙げております。 「○デジタル化とデータを活用したまちづくりの推進」に包含されるため、新たな項目としては追加しませんが、同項目内で「…データを活用したまちづくり、 <u>スマートシティやテレワーク</u> の推進が求められます。」と追記します。
8	「○スポーツや観光で彦根の魅力・活力の向上」にスポーツや観光に加えて、産学官金の連携による「リモートワーク最適都市として」の要素を追加すべき。	1件	有	「○デジタル化とデータを活用したまちづくりの推進」の項目がより関連性が高いので、同項目内で「…データを活用したまちづくり、 <u>スマートシティやテレワーク</u> の推進が求められます。」と追記します。
9	「○デジタル化とデータを活用したまちづくりの推進」について、行政が保有するあらゆる情報とオープンイノベーションの進	1件	有	ご指摘を踏まえ、同項目の最後に「 <u>また、それらの推進にあたっては、デジタル技術を活用した安全性を確</u>

	展を前提に、デジタル化による住民サービスの早期実現を目指すにあたり、「デジタルセキュリティに担保」された安全性をデジタル戦略の両輪として明記すべき。			保することが求められます。」という1文を追記します。
「第4章 政策の方向性」 「4 豊かな自然と共生し、安全・安心で快適なまち」				
10	M a a Sの視点に関して、「今後のまちづくりの視点」、「●重点的な視点について」、「○安心して快適に移動できる環境づくり」において、「M a a Sや自動運転の発達などが進む」ことを想定されているが、「第4章 政策の方向性」の「4 豊かな自然と共生し、安全・安心で快適なまち」には、その具体的な記載がないため、「M a a Sや新モビリティシステム」を政策の方向性として明記すべき。	1件	無 (記載済み)	「4 豊かな自然と共生し、安全・安心で快適なまち」では、本文で「市内のどの地域においても、だれもが快適な日常生活を営み、住民も観光客も移動しやすい」まちづくりに取り組むことを明記しており、M a a Sについても包含し、より一般的な形で記載しているため、ご指摘の点については追記しません。

前期基本計画(素案)について

<1-1-1 人権尊重のまちづくりの推進>

意見の概要		意見数	修正の有無	市の考え方
1	対面研修でなくても支障がないテーマについては、WEB研修を積極的に導入していただきたい(コストや時間の制約なく、多くの人が受講可能)。	1件	無	令和3年度から積極的にオンラインで受講する形式を導入しております。今後も、研修の内容にもよりますが、対面との併用なども含めて活用してまいります。
2	<2-1-3 小学校・中学校教育の充実>にもあるように、人権教育は幼少期からの継続した教育積み重ねが重要かと思う。定期的に人権を学ぶ機会があればいいが、今やLGBTQの問題や携帯電話の使用が低年齢化し、子どもにおいても様々な人権問題が渦巻いている環境下にある故に、各学校と連携し、幼少期から人権を学ぶ風土作りをお願いする。	1件	無	本市では、すべての学校・園において、幼児・児童・生徒の人権感覚の高揚のため、発達段階に応じた人権教育を推進しています。また、教職員についても定期的に人権に係る研修を行い、LGBTQやインターネット上の人権侵害など、新たな人権課題などについても研修を進めているところです。 市として、幼少期からの継続した人権教育を推進しているため、計画の修正は行いません。

<1-2-6 生涯学習・社会教育の推進>

意見の概要		意見数	修正の有無	市の考え方
1	市の財政が危機的な状況にあるということは、亀山学区で開催された「図書館整備に係る説明会」で市長が説明された内容を聞き、ある程度の理解はしたが、候補地である清崎町だけでなく、亀山学区としては、一日も早く整備していただきたいと考えている。 市長の説明の中で、「PFI」での実施も研究していきたいとのことであるが、「PFI」では候補地が市街化調整区域であり青地であるため図書館整備ができないので、まず、国や県に要望をしていきたい、可能性はあると説明されたようだ。 国や県に対する要望をして、青地が変更されるのにどれくらいの	1件	無	図書館中央館の整備につきましては、12年後には、事業着手したいと考えておりますが、一日でも早い着手を目指して、まずは財政状況の改善に全力を尽くしたいと考えております。 それまでの間は、準備期間としてPFIなど様々な事業手法について研究することが必要と考えております。農業振興地域農用地区域の除外につきましては、図書館法による図書館の整備であれば、除外手続きは不要ですが、PFI手法による整備の場合の手続き等に

<p>期間がかかるのか。要望についての作業は、既に取りかかっているのか。本当に変更は可能なのか。</p> <p>「PFI」で実施することが、少子高齢化が進んでいる亀山学区にとって有効なのかどうか、十分検討していただきたい。一日も早く財政状況の改善を図って、中央館の整備を進めていただきたい。</p> <p>「12年後の姿」には「延伸していた「中央館」の整備については、財源の目途が立ち、事業に着手しているとともに・・・」とあるが、12年後にはすでに、中央館は完成し図書サービスを向上できる体制となっているということかと思う。市長は亀山学区の説明会で、「整備時期については、令和8年を目指したい、目標としたいと現時点で考えている。」との発言があったと聞いている。</p> <p>一日でも早く、「本好きの子ども」が増え、「魅力的な本」がいっぱいで、快適で利用しやすい環境の図書館が完成するようによろしく願います。</p>			<p>については、今後、研究するとともに、必要により国や県に対して要望等を行ってまいりたいと考えております。</p>
--	--	--	--

<2-1-6 若者の定住・移住の促進>

	意見の概要	意見数	修正の有無	市の考え方
1	<p>「市内3大学新卒者の市内就職者数」の基準値(令和元年度)は26人となっていますが、「第2期彦根市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の23ページに記載されている基準値(平成27年～30年度卒平均)では37人となっている。</p> <p>基準の年度が違っても、平成27年～30年度卒平均で37人あったのが、翌年の元年度には26人と11人も減少しているのは、平成27年～30年度の4年間の市内就職者数が多かったのか、たまたま元年度が少なかったのか、何か基準値の取り方に違いがあるのか。</p>	1件	無	<p>「市内3大学新卒者の市内就職数」について、「第2期彦根市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基準値と差が生じているのは、策定年度の違いにより、両計画の基準値の設定年度に差が生じているためです。</p> <p>総合計画については、すべての施策で統一的に、原則として令和元年度の値を基準値としていることから、修正は行いません。</p> <p>「市内3大学新卒者の市内就職数」については年度ごとに増減があり、令和元年度は特に少ない年度でし</p>

	この指数は、現計画にも記載されて取り組まれていたはずなのにどうなのか。			た。今後については、総合計画に基づき施策を実施することで目標を達成できるよう取り組んでまいります。
2	市内 3 大学の学生を卒業後も彦根で就職してもらおう具体的な取組について、これまで彦根市自らが雇用対策について、特に若年者の労働力確保に力を入れ取り組んだのは、あまりなかったように思う。長浜市、東近江市、高島市等ではそれぞれ特色ある取組を行っている。彦根市には 3 地場産業や大手企業の事業所等が数多くあり、各事業所がコロナに負けないように考えて、元気に頑張っておられる。市内の大学生や彦根から市外の大学等に行っている若者に、彦根にはこんな素晴らしい事業所がたくさんあるということをもっとPRし、若い世代が出て行かずに、さらに移り住んでもらえるような支援策をお願いする。	1 件	無	若い世代が出て行かずに、さらに移り住んでもらえるまちの実現に向けて、総合計画を始めとする各種計画を全力で取り組んでいく必要があると考えております。ご意見にもありますように、今後は、本市には 3 地場産業や大手企業の事業所が数多くありますことから、こうした事業所をPRし、若い世代が彦根で就職し、また移住してもらえるよう、他市等の取組状況を参考にしながら雇用につながる支援策を検討してまいります。

<3-2-2 スポーツの振興>

	意見の概要	意見数	修正の有無	市の考え方
1	11 月の定例議会の答弁においてあった“e スポーツ”に対して、前期基本計画では触れられていないように思う。 その答弁においては、既に e スポーツの先進地とのコンタクトを取り始めているとのことだった。できれば主な取組の項目の中で触れられてはいかがか。	1 件	有	e スポーツにつきましては、市場規模が急成長している分野であり、地域活性化、地域人材の育成、若者の定住等、幅広い可能性があると考えております。 素案 P68「5. スポーツツーリズムの推進」に 3 項目目「□e スポーツを推進し、彦根市スポーツ・文化交流センターで大規模な e スポーツ大会や地域に根差した大会を継続して開催し、e スポーツの拠点施設になるよう進めていきます。また、e スポーツを通じたまちづくりや地域活性化への取組に努めます」を追記します。

<3-3-2 商業・工業・サービス業の振興>

意見の概要		意見数	修正の有無	市の考え方
1	<p>「彦根市地場産業活性化基本方針および行動計画」は、平成 27 年 4 月から 5 年間の間に成果を出せるような実践的で即効性のある取組を計画に実施されてきたと思うが、5 年間の総括と、その後をどうするのかという計画がないように思う。しかし「総合計画 前期基本計画(素案)」には、今後も引き続き、「4 つの視点から実践的で即効性のある取組の支援に努めます。」と記載されている。</p> <p>他市にはない伝統のある彦根の 3 大地場産業の活性化を図るため、特に「仏壇」、「ファンデーション」が活力を取り戻すような取組を期待している。</p>	1 件	無	<p>本市では、「彦根市地場産業活性化基本方針および行動計画」に基づき、3 地場産業それぞれの実情に応じた取組を実施してきたところです。しかしながら、技術者の高齢化や後継者不足、生活様式の変化や海外製品の台頭により、厳しい事業環境が続いており、新型コロナの影響に加え、原材料単価の高騰の影響が深刻です。こうした状況を踏まえ、ご意見にありますように、特に「仏壇」、「ファンデーション」の活性化に向け引き続き取り組んでまいります。</p>

<3-3-4 就労機会・就労環境の充実>

意見の概要		意見数	修正の有無	市の考え方
1	<p>【<2-1-6 若者の定住・移住の促進>にも掲載】</p> <p>市内 3 大学の学生を卒業後も彦根で就職してもらう具体的な取組について、これまで彦根市自らが雇用対策について、特に若年者の労働力確保に力を入れ取り組んだのは、あまりなかったように思う。長浜市、東近江市、高島市等ではそれぞれ特色ある取組を行っている。彦根市には 3 地場産業や大手企業の事業所等が数多くあり、各事業所がコロナに負けないように考えて、元気に頑張っておられる。市内の大学生や彦根から市外の大学等に行っている若者に、彦根にはこんな素晴らしい事業所がたくさんあるということをもっと P R し、若い世代が出て行かずに、さらに移り住んでもらえるような支援策をお願いする。</p>	1 件	無	<p>現在までの、本市の雇用対策は彦根地区雇用対策協議会において関係機関と連携した取組が中心でした。ご意見にもありますように、今後は、本市には 3 地場産業や大手企業の事業所が数多くありますことから、こうした事業所を P R し、若い世代が彦根で就職し、また移住してもらえるよう、他市等の取組状況を参考にしながら雇用につながる支援策を検討してまいります。</p>

<4-1-2 公共交通ネットワークの充実>

意見の概要		意見数	修正の有無	市の考え方
1	「12年後の姿」には、モビリティシステムに関する記載、「自動運転等の新たなモビリティを活用することで」とあるが、「主な取組」において、これに対する具体的な内容を明記すべき。	1件	無	「新たなモビリティ」の具体的内容については、現在のところ決まったものではありませんので、今後協議を進め、地域公共交通計画などに位置付けて具体化を図ります。

<4-2-3 公園緑地の整備>

意見の概要		意見数	修正の有無	市の考え方
1	「主な取組」について、都市公園の整備に関する記載、「計画中の公園については、市民ニーズに適応した整備計画となるよう市民とともに施設内容等の検討を行います。また、整備・運営の手法についてはPFI…」とあるが、世界遺産都市として、ウォークブル・シティ構想も踏まえ、「歩道および自転車道の整備」とともに、公園計画においては、市民はもとより「来訪者との交流」の視点も明記すべき。	1件	有	ご意見を踏まえ、「計画中の公園については、市民ニーズへの適応や来訪者との交流につながる整備計画となるよう施設内容等の検討を行います。」と修正します。

<4-2-4 道路の整備>

意見の概要		意見数	修正の有無	市の考え方
1	「主な取組」について、幹線道路の整備促進に関する記載、「観光交流における都市の基盤として道路整備を」とあるが、施策4-2-3との整合性から、幹線道路ではないが、歩道および自転車道の整備を検討すべき。	1件	無	道路整備の観点からは、道路交通の基幹を成す幹線道路の整備を優先することとなりますが、コンパクトなまちづくりや観光交流の推進を図るための移動動線のネットワーク化を進める中で、必要に応じた歩道や自転車道の整備を検討します。 また、施策<4-1-1 持続可能な都市形成>において、ウォークブルを推進することとしており、関連する施

策として「道路の整備」を位置付けています。

<4-1-4 低炭素社会・循環型社会の構築>

	意見の概要	意見数	修正の有無	市の考え方
1	<p>「ボカシ」を使って生ごみの処理をしているが、生ごみの処理をしている人はまだまだ少なすぎると感じる。課題はたくさんあるが、もっともっと多くの人が生ごみを燃やすごみに出さないようになってほしいし、皆でゴミ問題を考えていくべきである。また、葉刈りの剪定枝の処理も同様である。</p>	1件	無 (記載済み)	<p>今後のごみ減量施策として、燃やすごみのうちの3割を占める生ごみのさらなる減量に取り組んでいかなければならないと認識しており、その手法の一つとして、有用微生物のはたらきを活用したボカシによる生ごみの堆肥化を推進しており、現在、市民の方々と協働して取り組み、さらなる普及を目指しているところです。このことについては、「多様な主体との連携による取組」においても記載しており、剪定枝等の処理も含め、「3Rの取組強化」を進めてまいります。</p>
2	<p>総合計画の下位の位置付けかもしれないが、新焼却場建設に当たり、派生する課題である「ごみ減量、分別回収などのしくみ改善、荒神山の自然環境保全、環境の次世代教育、・・・等々」を繋がりテーマとして設定推進し成果を上げてほしい。</p>	1件	無 (記載済み)	<p>ご意見のとおり、ごみ減量やごみ分別回収については「彦根市一般廃棄物処理基本計画」、また、荒神山の自然環境保全、環境教育については「彦根市環境基本計画および地域行動計画」に、より具体的な施策や数値目標等を設定しており、それらの個別計画において進捗管理を行っていくこととしております。</p> <p>このことから、総合計画においては、主な取組の「3Rの取組強化」や、施策<4-1-3 生活環境・自然環境の保全と創出>の主な取組「貴重な自然と触れ合う機会の創出」等に記載するように、包括的な記載といたします。</p>

その他、いただいたご意見への対応以外で修正を行った点(文言等の軽微な修正を除く)

基本構想(素案)について

修正箇所		修正概要
1	冒頭部分	「はじめに」として市長のあいさつを追加しました。
2	「第1章 彦根市をとりまく状況と未来」「1 社会変化と彦根市の状況」 「人口減少・少子高齢化」「彦根市の状況」のグラフと本文(説明文)	令和2年(2020年)の国勢調査結果が公表されたため、更新を行いました。
3	「第1章 彦根市をとりまく状況と未来」「1 社会変化と彦根市の状況」 「価値観・ライフスタイルの多様化とコミュニティの変化・生活様式の転換」 「彦根市の状況」のグラフ	令和3年(2021年)の値が確定したため、更新を行いました。
4	「第1章 彦根市をとりまく状況と未来」「1 社会変化と彦根市の状況」 「地域の魅力と活力の創生」「彦根市の状況」のグラフ	最新の調査結果が公表されたため、更新を行いました。
5	「第2章 彦根市の今後の取組に向けて」「1 今後のまちづくりの視点」 「重点的な視点について」「スポーツや観光で彦根の魅力・活力の向上」の本文1行目 「第4章 政策の方向性」「2 政策の方向性」「地域の魅力と活力の創生」 「3 歴史・文化を生かし、にぎわいと特色ある産業が育つまち」本文7行目 「用語解説」	ワールドマスターズゲームズ2021関西については、新型コロナウイルス感染症の影響により延期され、令和4年(2022年)に開催される予定でした。 しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることから、同大会の組織委員会では、開催を令和8年(2026年)に再延期する方針を表明され、同大会を統括する国際団体とも協議をされていますが、現時点では結論が出ておらず、開催時期の目途が立っていない状態です。 こうした状態にあることを考慮し、ワールドマスターズゲームズ2021関西に関する記述を削除しました。
6	「第4章 政策の方向性」「2 政策の方向性」「地域の魅力と活力の創生」 「4 豊かな自然と共生し、安全・安心で快適なまち」の本文3行目	「あわせて、市民生活を脅かす自然災害や高度化・多様化する犯罪への対応にも取り組みます。」としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、オミクロン株など新たな脅威が次々と発生している現状や、今後も各種の新型ウイルス感染症(コロナウイルス以外

		<p>のものを含む)をはじめとした様々な脅威が生じうるということを踏まえ、「あわせて、市民生活を脅かす自然災害や<u>新型コロナウイルスによる感染症</u>、高度化・多様化する犯罪<u>など</u>への対応にも取り組みます。」と修正しました。</p>
--	--	---

前期基本計画(素案)について

<5-2-4 総合計画の推進と社会変化への対応>

修正箇所		修正概要
1	関連する個別計画等	<p>令和3年(2021年)12月に新たに「彦根市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進基本方針」を策定したため、関連する個別計画等に追加しました。なお、巻末資料についても当該箇所を追加しています。</p>